

お話のさくしやになろう

名前 () 年 組 番 () 月 日 ()

1 〇のことはのいみを、〇でつなぎましょう。

- さくしや
- しょうかい
- じんじつ
- せつめい

お話に出てくる人のこと。
あいてに、分かりやすく話すこと。
お話を、つくった人のこと。
声に出して読むこと。
知られていないことを、人に知らせること。

2 「お話づくり」で、正しいことと、〇をつけてみましょう。

- 〇 だいいいは、はじめから考えておきます。
- 〇 できことは、お話の「中」に書きます。
- 〇 お話のさくしやのことを、「中」に書きます。
- 〇 お話の「おわり」を書いたら、声に出して読んでみます。

3 かん字をつかって、文ぜんぶを書きましょう。

- みんなて本をよみあう。
- みんなて本をよみあう。
- みんなて本をよみあう。
- みんなて本をよみあう。

みんなて本をよみあう。

かたかなで書くことは

名前 () 年 組 番 () 月 日 ()

1 かたかなで書くことを、〇でかこみましょう。

- かんづめ
- ぷりん
- やきめし
- どうぶ
- すごろく
- けんだま
- たこあげ
- とらんぷ
- ばいなつぷる
- なし
- なす
- かぼちや

2 のばす音に気をつけて、かたかなになおしましょう。

ボール

ちよこれえと

チヨコレート

雨がザーザーといる。

コーヒー

ちようく

チヨーク

3 かたかなで書くことを、()に書きましよう。

いすにゆつたりとすわる。

いすにどすんとすわる。

いすにそつとすわる。

雪がどつさりつもる。

風がそよそよいく。

かみなりがころころなる。

ドスン

ゴロゴロ

どんぐりころころの巻

名前 ()

お池にはまって さあ、たいへん

どじょうが出てきて こんにちは

どんぐりころころ どんぶりこ

コンニチハ!

どじょうが出てきて こんにちは

ぼっちゃん いっしょにあそびましよう

どんぐりころころ どんぶりこ

お池にはまって さあ、たいへん どじょうが出てきて こんにちは ぼっちゃん いっしょにあそびましよう

青木 存義

一字ちがえばの巻

名前 ()

てほん

えほん

みかん

やかん

はかり

かかり

あかり

のうか

ろうか

こうか

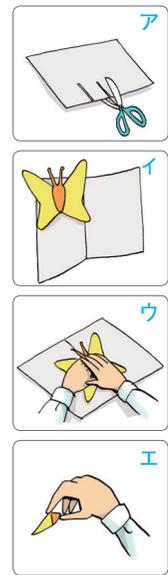
しかけカードの
作り方

36-41

名前 () 年 組 番 () 月 日 点

1 ことばにあう絵の記ごうを、書きましょう。

- はみ出す (イ) 切りこみを入れる (ア)
- つまむ (エ) しっかりおさえる (ウ)



2 () にあうことばを、 () からえらんで書きましょう。

「しかけカード」の作り方

まず ()、色画用紙で、カードを作ります。
絵のように、切りこみを入れます。

つぎに ()、切ったところをおります。
それから、色画用紙をひらいて、さっきおったところをおし上げます。

こんどは、しかけ台にはるかざりを作ります。
さいごに ()、しかけ台に、かざりをはります。
これで ()、しかけカードのでき上がりです。

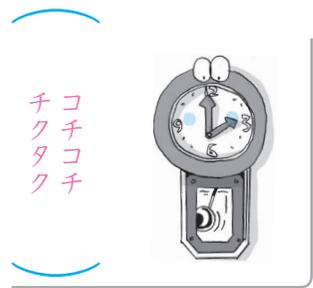
だから つぎに () ます () これで () さいごに ()



絵から音を
つくろうの巻

44面

おててしついでに
自分な音を
つくろう



絵から音を
つくろうの巻

おもちゃの作り方

42-45

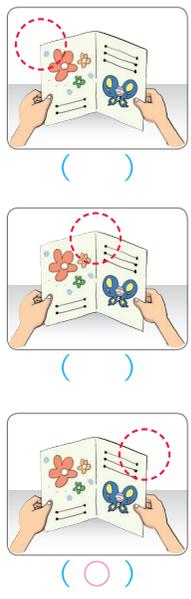
名前 () 年 組 番 () 月 日 点

1 つづくことばを、 () でつなぎましょう。

- せつめいのしかたを () そろえる。
- げんかんのくつを () はかる。
- ものさしで長さを () むすぶ。
- まぶ、しくて目を () とじる。
- () 考える。



2 カードの上の右はしを、 () であらわしました。
正しい絵に () をつけましょう。



3 つぎの文は、糸電話の作り方です。文がつながるように、ばんごうを書きましょう。

4 これで、できあがりです。

1 まず、紙コップ二つと糸をよういします。

3 それから、そのあなに糸を通して、中からセロハンテープでとめます。

2 つぎに、二つの紙コップのそこにあなを
あけます。



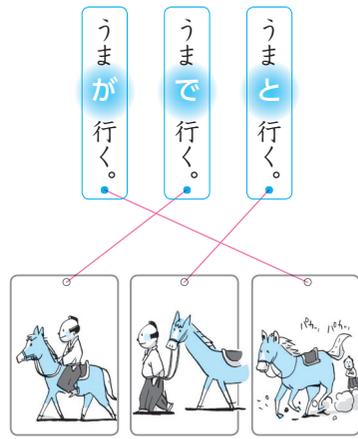
ひらめき道場

絵は、どっちの巻

44面

絵と文が
あうほうを
むすぶの
まね

ケーキを
食べたい。
ケーキも
食べたい。



ぼくも
行きたい。
ぼくが
行きたい。

主語と述語②

名前 () 年 組 番 () 月 日 () 点

1 話がつたわるように、□のことは書きましょう。



(赤とんぼが)、とんでいる。

雨が、ふってきた。

あすは、きつと晴れる。

にじが、きれいだ。



あすは	雨が	赤とんぼが	にじが
-----	----	-------	-----

2 主語に——を、述語に——をひきましましょう。

(たれが何は) (なにをどんなんだ) (何を何に)

ぼくは、はがきをポストに 入れました。

それは、うつくしい 絵はがきです。



3 絵を見て、あう述語を書きましましょう。



ア ぼくは、(二年生だ)。
イ あねのせは、(高い)。
ウ 赤ちゃんが、(わらう)。
エ 太った犬が、(ほえる)。
※別答ほそそいでいる。ないていさ

あったらいいな、
こんなもの

名前 () 年 組 番 () 月 日 () 点

1 □に、「○」を書きましましょう。

□ こんなものがあればいいなあ □
と考えると □ とてもたのしくなる □
だから □ みんなに話したくなる □



2 のいみをえらんで、でつなぎましましょう。

きつかけ ● 何かをするときのじゅんばん。
くふう ● ふと心に、うかんだ考え。
思いつき ● できごとのもとになったことがら。
よく考えたじょうずなやりかた。



3 話がつじゅんになるように、ばんごうを書きましましょう。

- 1 (これから、ぼくの考えたものをせつめいします。)
- 2 (それは、こんな形をしています。)
- 3 (そして、こんなときにべんりです。)
- 4 (これで、ぼくのはっぴょうをおわります。)



ひらめき道場 同じなのにの巻

名前 ()



虫なのに、でないのは、ななに?
てんとう虫
なき虫

パンなのに、でないのは、ななに?

食パン	フランスパン	フライパン
-----	--------	-------

ぼうしなのに、でないのは、ななに?

赤白ぼうし	むぎわらぼうし	一すんぼうし
-------	---------	--------

ひらめき道場 一字ちがえばの巻

名前 ()



手、かわると
ちがうと
ちがった。

ハム
ガム

ラケット	チケット	ロケット
ボール	メール	ゴール
モップ	コップ	ラップ
バット	ヨット	

おにごっこ

82-90

名前 () 年 組 番 () 月 日 () 点

1 ■ の正しいみえを、○でかこみましよう。

- おにを交代する。
 - 入れかわる () やめさせる () つかまえる ()
- 新しい先生には、話しくい。
 - にくらしい () やりやすい () やりにくい ()
- あそび方をくふうすると、楽しさがくわる。
 - なかまになる () ふえる () 小さくなる ()



各10点

2 () にあうことばを、□からえらんで書きましよう。

- おにごっこは、どうぐがなく () () () ても () あそべる。
- 楽しくあそぶ () () () には () 、くふうがひつようだ。
- このあそび方 () () () では () 、もの足りない。
- みんなで思いきりあそべ () () () たら () 楽しい。



各10点

3 文になるように、●でつなぎましよう。

- 少しの雨でも、あすのえんそくは () () () になります。
- どうぐがなくとも、おにごっこは () () () のります。
- たんじょう日が来ると、ハさいに () () () あります。
- () () () できます。

各10点

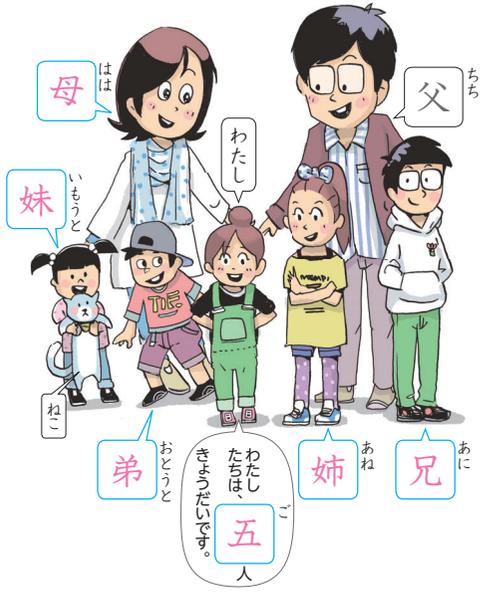
なかまのことばと
かん字

96-97

名前 () 年 組 番 () 月 日 () 点

1 家の人について、□にあうかん字を書きましよう。

各10点



2 なかまのかん字を、●でつなぎましよう。

各10点

雲	犬	十	昼
星	鳥	百	夜
魚	月	朝	町
千			



一字ちがえばの巻

40点



汽車 (汽車)

電車 (電車)

風車 (風車)

水車 (水車)

じけん (じけん)

いけん (いけん)

しけん (しけん)

かんさつ (かんさつ)

しんさつ (しんさつ)

※馬車、台車、下車、山車など。

やよいしい
ことばの巻

40点

「う」のなかま

うれしい (うれしい)

うらやましい (うらやましい)

うたがわしい (うたがわしい)



うたがわしい (うたがわしい)

うらやましい (うらやましい)

うるさい (うるさい)

うたがわしい (うたがわしい)

「う」のなかまのことばをつかって、文を作りましよう。

あんなおみやげをもらうなんて、うらやましいなあ。わたしもほしいわ。

作文の紙

スーホの白い馬 ①

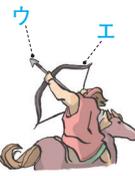
98-116

名前 () 年 組 番 () 月 日 () 点

1 とあう絵を、ア〜エからえらんで書きましよう。

各 10 点

むち (ア)
弓 (エ)
たづな (イ)



2 同じいみのことばを、でつなぎましよう。

各 10 点

耳をすます
うつくしいのでうっとり見る。
うっかりして見のがす。
じっくりと聞く。
自分のものにする。



3 文と同じいみのことばを、からえらんで書きましよう。

各 10 点

りょう足を広げて、馬などにのる。 またがる
はんたいして、言うことを聞かない。 さからう
わるいことが、おきないようにまもる。 ふせぐ
くるしくて、手足をばたばたさせる。 もがく
もがく またがる ふせぐ ひびく さからう

スーホの白い馬 ②

98-116

名前 () 年 組 番 () 月 日 () 点

1 () にあうことばを、 からえらんで書きましよう。

各 10 点

あの馬は、 (雪) のように白い。
あせが、 (たき) のようにながれる。
月日は、 (とび) ようにすぎっていく。



雪 たき 行く とび

2 同じいみのことばを、でつなぎましよう。

各 10 点

みなり
まわりをとりかこんでいるもの。
ふいに
通れないようにじやまをすること。
かこい
ふくをきたときのようす。
かこい
何かのなかみ。
立ちふさがる
とつぜんに

3 ニつのことばを組み合わせて、一つのことばにましよう。

各 10 点

はねる + おきる = はねおきる
ながれる + おちる = ながれおちる
かける + よる = かけよる
走る + つづける = 走りつづける



ひらめき道場
絵から音をつくろうの巻

名前 ()

自分で音をそらうとして書くのね。

(解答性)



「ガシャーン」
「パリーン」
「わっしょい」
「よいン、ドン」
「むにやむにや」
「うん、うん」

ひらめき道場
ややこしいことばの巻

名前 ()

「く」のなかま
絵にあうことばを、見つけておきな。

くわしい
くわしい
くだらない
くわしい



「く」のなかまのことばをつかって、文を作りましよう。

あのボールを見のがしたのはほんとうにくわしい。

